

環境調査結果のお知らせ

平成30年12月17日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温16℃、塩分33、溶存酸素量7~9mg/lでした。
透明度は4mで、有毒・有害種は確認されませんでした。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温15.5~16.3℃、塩分32.6~33.2でした。
前回調査時(H30.11.13)と比較して、水温は全層で4.6~5.0℃低下しました。塩分は全層で0.4~0.8上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.3~8.8mg/lでした。
前回調査時(H30.11.13)と比較して、全層で1.4~1.6mg/l上昇しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は3.6~4.3mでした。
検鏡の結果、有毒・有害種は確認されませんでした。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10~100cells/ml(魚類へい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml~(餌食いの悪化)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(11/13)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	15.5	15.6	15.8	15.8	15.6	15.7	20.3	▲ 4.6
2m	15.5	15.6	15.7	15.7	15.6	15.7	20.5	▲ 4.8
5m	15.5	15.6	15.8	15.7	15.7	15.7	20.6	▲ 4.9
10m	15.7	15.7	15.9	15.9	—	15.8	20.8	▲ 5.0
B-1m	16.1	16.1	16.1	16.2	16.3	16.1	21.0	▲ 4.9

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(11/13)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	32.6	32.8	32.8	32.9	32.9	32.8	32.0	0.8
2m	32.8	32.8	32.9	32.9	32.9	32.8	32.1	0.7
5m	32.8	32.8	32.9	32.9	33.0	32.9	32.1	0.8
10m	32.9	32.8	33.0	33.0	—	32.9	32.3	0.6
B-1m	33.0	33.1	33.1	33.2	33.2	33.1	32.7	0.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(11/13)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	8.3	8.5	8.4	8.4	8.8	8.4	7.0	1.4
2m	8.1	8.4	8.3	8.3	8.6	8.4	6.8	1.6
5m	7.9	8.3	8.2	8.2	8.4	8.2	6.7	1.5
10m	7.7	8.1	8.0	8.0	—	8.0	6.4	1.6
B-1m	7.3	7.7	7.9	7.9	8.1	7.8	6.2	1.6

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	12.8	16.2	17.8	17.5	9.9
透明度	3.9	4.3	3.6	3.8	4.0
前回(11/13)	5.3	5.4	5.2	5.3	4.4

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレンシア・ ミキモトイ	シャットネラ属	ケラテウム属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	3,200
	2m	0	0	0	1,800
	5m	0	0	0	1,450
目ノクソ	0m	0	0	0	2,400
	2m	0	0	0	2,300
	5m	0	0	0	2,200
光松	0m	0	0	0	2,500
	2m	0	0	0	2,600
	5m	0	0	0	1,900
大鹿	0m	0	0	0	1,300
	2m	0	0	0	2,800
	5m	0	0	0	2,800
水試小割前	0m	0	0	0	2,100
	2m	0	0	0	1,800
	5m	0	0	0	450
井尻	0m	0	0	0	1,100
	2m	0	0	0	150
	5m	0	0	0	20
鳴瀬	5m	0	0	0	3,600